

2015 年度データ集

－目次－

報告方針-----	1
環境パフォーマンス指標 -----	2
環境パフォーマンスデータ算定方法-----	7
独立した第三者保証報告書 -----	9

報告方針

集計対象範囲

TOTO株式会社および、国内外の連結子会社 52 社を対象としています。ただし、集計範囲が異なるデータについては個別に注釈を記載しています。

報告対象期間

2015 年度（日本：2015/4/1～2016/3/31、海外：2015/1/1～2015/12/31）を対象としています。

第三者保証

このアイコンのある指標は、2015年度を対象として、KPMGあずさサステナビリティ株式会社による保証を受けています。ただし、各指標の売上高原単位については、保証対象ではありません。

参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」を参考にしています。

環境パフォーマンス指標

温室効果ガス(GHG)

(年度)

指標	単位	2011	2012	2013	2014	2015
<input checked="" type="checkbox"/> スコープ1	千 t-CO ₂	167	159	167	171	168
(売上高原単位)	t-CO ₂ /百万円	0.37	0.33	0.30	0.31	0.30
<input checked="" type="checkbox"/> スコープ2	千 t-CO ₂	141	140	149	156	157
(売上高原単位)	t-CO ₂ /百万円	0.31	0.29	0.27	0.29	0.28

(年度)

指標	単位	2015
<input checked="" type="checkbox"/> スコープ3 カテゴリ11	千 t-CO ₂	18,148

エネルギー消費

(年度)

指標	単位	2011	2012	2013	2014	2015
<input checked="" type="checkbox"/> 総エネルギー消費量	PJ (ペタジュール)	5.6	5.5	5.8	6.0	6.0
(売上高原単位)	GJ/百万円	12.4	11.5	10.5	11.0	10.5
<input checked="" type="checkbox"/> 購入電力量	MWh	279	277	292	301	302
(売上高原単位)	MWh/百万円	0.62	0.58	0.53	0.55	0.53
再生可能エネルギー発電量	MWh	196	202	217	198	215

水使用・排水

(年度)

指標	単位	2011	2012	2013	2014	2015
<input checked="" type="checkbox"/> 水使用量	千 m ³	2,727	2,702	2,601	2,800	2,851
(売上高原単位)	m ³ /百万円	6.02	5.67	4.70	5.14	5.02
(地下水使用量)	千 m ³	515	445	408	394	361
排水量	千 m ³	2,229	2,272	1,824	1,809	1,801
(売上高原単位)	m ³ /百万円	4.92	4.77	3.30	3.32	3.17
再生利用水量	千 m ³	1,225	1,266	1,416	1,893	1,711

廃棄物

(年度)

指標	単位	2011	2012	2013	2014	2015
廃棄物発生量	千 t	112.2	104.3	99.0	103.7	106.7
(売上高原単位)	t/百万円	247.9	219.0	178.9	190.4	187.9
廃棄物最終処分量	千 t	31.9	27.6	21.3	17.2	8.7
(売上高原単位)	t/百万円	70.5	57.9	38.5	31.6	15.3
リサイクル率	%	71.5	73.5	80.6	82.4	91.8
(国内)	%	99.8	99.9	99.9	99.9	100
(海外)	%	54.1	58.1	69.7	74.4	88.1
(TOTO 国内支社・営業所の古紙・ダンボール)	%	99.8	99.3	99.3	99.7	99.8
(国内販社・施工グループ会社の古紙・ダンボール)	%	99.4	99.9	100	100	100

大気排出

(年度)

	単位	2011	2012	2013	2014	2015
化学物質排出量	t	27.9	39.7	27.9	28.0	40.0
(売上高原単位)	kg/百万円	0.06	0.08	0.05	0.05	0.07
SOx 排出量	t	133.4	168.1	149.8	131.5	134.4
(売上高原単位)	kg/百万円	0.29	0.35	0.27	0.24	0.24
NOx 排出量	t	273.1	283.2	356.1	382.6	272.9
(売上高原単位)	kg/百万円	0.60	0.59	0.64	0.70	0.48
ばいじん排出量	t	142.2	150.6	110.8	152.3	124.7
(売上高原単位)	kg/百万円	0.31	0.32	0.20	0.28	0.22

※精度向上のため、SOx 排出量、NOx 排出量、ばいじん排出量を 2011 年度まで遡って更新しています。

水質総量規制制度対象物質

COD(化学的酸素要求度)

(年度)

事業所	単位	規制値	平均実測値				
			2011	2012	2013	2014	2015
TOTO (株) 小倉第二工場	kg/日	28.82	8.95	6.60	9.59	9.61	5.02
TOTO サニテクノ (株) 中津工場	kg/日	12.00	8.90	4.10	2.90	3.20	4.40
TOTO ファインセラミクス (株) 本社・中津工場	kg/日	4.70	0.19	2.35	0.28	0.22	0.31
TOTO アクアテクノ (株) 大分工場	kg/日	16.60	2.80	4.60	1.90	2.60	2.40
TOTO サニテクノ (株) 愛知工場	kg/日	4.30	—	—	—	0.70	0.63

窒素含有量

(年度)

事業所	単位	規制値	平均実測値				
			2011	2012	2013	2014	2015
TOTO (株) 小倉第二工場	kg/日	57.48	2.38	1.69	2.04	2.50	2.09
TOTO サニテクノ (株) 中津工場	kg/日	8.85	7.36	6.95	6.42	5.51	4.66
TOTO ファインセラミクス (株) 本社・中津工場	kg/日	8.20	1.11	0.93	1.44	0.92	1.10
TOTO アクアテクノ (株) 大分工場	kg/日	16.60	2.00	2.85	2.40	2.60	2.30
TOTO サニテクノ (株) 愛知工場	kg/日	3.70	—	—	—	0.06	0.25

りん含有量

(年度)

事業所	単位	規制値	平均実測値				
			2011	2012	2013	2014	2015
TOTO (株) 小倉第二工場	kg/日	5.75	0.09	0.05	0.08	0.06	0.04
TOTO サニテクノ (株) 中津工場	kg/日	0.60	0.03	0.11	0.03	0.07	0.03
TOTO ファインセラミクス (株) 本社・中津工場	kg/日	1.56	0.07	0.38	0.02	0.01	0.01
TOTO アクアテクノ (株) 大分工場	kg/日	4.98	0.30	0.40	0.30	0.30	0.30
TOTO サニテクノ (株) 愛知工場	kg/日	0.50	—	—	—	0.00	0.004

PRTR 法規制対象物質

2015 年度

政令 番号	物質名	単位	使用量	排出量			移動量	
				大気	水域	土壌	下水道	社外
31	アンチモンおよびその化合物	t	46.3	—	—	—	—	12.7
71	塩化第二鉄	t	14.2	—	—	—	—	—
80	キシレン	t	9.2	2.3	—	—	—	—
88	六価クロム化合物	t	4.3	0.001	0.031	—	—	1.1
133	酢酸 2-エトキシエチル	t	1.6	1.6	—	—	—	—
134	酢酸ビニル	t	3.1	2.1	—	—	—	—
240	スチレン	t	1,149.0	23.8	—	—	—	1.1
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	t	8.2	0.05	—	—	—	0.001
300	トルエン	t	29.4	7.6	—	—	—	20.3
308	ニッケル	t	15.9	—	—	—	—	3.0
309	ニッケル化合物	t	5.7	—	0.08	—	—	2.5
355	フタル酸ビス(2-エチルヘキシル)	t	1.4	—	—	—	—	—
405	ほう素およびその化合物	t	4.3	—	—	—	0.09	0.2
412	マンガンおよびその化合物	t	1.3	—	—	—	—	0.6
413	無水フタル酸	t	3.7	0.2	—	—	—	—
420	メタクリル酸メチル	t	5.7	0.3	—	—	—	0.03
438	メチルナフタレン	t	15.9	0.07	—	—	—	—
448	メチレンビス(4,1-フェニレン) =ジイソシアネート	t	6.3	2.0	—	—	—	—

環境パフォーマンスデータ算定方法

指標	算定方法
スコープ 1 排出量	燃料の使用に伴う CO ₂ 排出量 + 6.5 ガスの CO ₂ 換算排出量
スコープ 2 排出量	<p>電力・熱の購入に伴う CO₂ 排出量</p> <p>【電力の CO₂ 排出係数(国内)】 環境省「事業者からの温室効果ガス排出量算定方法ガイドライン (試案 Ver.1.6)」</p> <p>【電力の CO₂ 排出係数(海外)】 GHG Protocol, Calculation Tools, “Indirect CO₂ Emission from Purchased Electricity. Version 3.0”</p> <p>【電力以外の CO₂ 排出係数】 環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver.2.4)」</p>
スコープ 3 排出量 カテゴリ 11	<p>主要商品^{※1} 台あたりの使用期間^{※2} における CO₂ 排出量^{※3} × 販売台数</p> <p>※1：大便器・ウォシュレット・水栓金具・浴槽</p> <p>※2：当社が定める商品分類毎の使用期間</p> <p>※3：主要商品を販売した地域における、商品性能と使用状況モデル(業界団体公表資料や論文等に基づいて設定)に基づく、商品使用時の水・エネルギー消費に伴う CO₂ 排出量</p> <p>【電力の CO₂ 排出係数(国内)】 電気事業連合会「電気事業における環境行動計画」に示されている CO₂ 排出係数(調整後)の5年間平均値(2009年度～2013年度実績平均値)</p> <p>【電力の CO₂ 排出係数(海外)】 GHG Protocol, Calculation Tools, “Indirect CO₂ Emission from Purchased Electricity. Version 3.0”</p> <p>【水の CO₂ 排出係数(国内)】 省エネ・防犯住宅推進委員会「省エネ・防犯住宅推進アプローチブック」</p> <p>【水の CO₂ 排出係数(海外)】 環境省・経済産業省の調査報告書等に基づき定めた CO₂ 排出係数を使用。 販売した地域毎に 0.39kg-CO₂/m³～1.11kg-CO₂/m³にて設定。</p> <p>【ガスの CO₂ 排出係数】 環境省・経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル(Ver.2.4)」の値を使用</p>
エネルギー消費量	事業所での電力と燃料、熱の消費におけるエネルギー消費量の合計
購入電力量	事業所での購入した電力の合計
再生可能エネルギー発電量	事業所で発電した再生可能エネルギーの合計
水使用量	事業所での取水量(上水道・地下水・工業用水)の合計
地下水使用量	水使用量のうち、地下より取水した水の合計
排水量	事業所より下水および河川へ排出した水の合計
再生利用水量	事業所にて再利用された水の合計

廃棄物発生量	事業所での廃棄物発生量の合計
廃棄物最終処分量	事業所にて発生した廃棄物のうち、再資源化されず最終処分された量の合計
リサイクル率	事業所にて発生した廃棄物における、 廃棄物再資源化量／廃棄物発生量×100
TOTO 国内支社・営業所の古紙・ダンボールのリサイクル率	国内の TOTO の支社・営業所における古紙・ダンボールのリサイクル率
国内販社・施工グループ会社の古紙・ダンボールのリサイクル率	国内の TOTO グループ販社・施工会社の古紙・ダンボールのリサイクル率
化学物質排出量	事業所における化学物質排出量
SOx 排出量	事業所における SOx 排出量
NOx 排出量	事業所における NOx 排出量
ばいじん排出量	事業所におけるばいじん排出量
COD (化学的酸素要求度)	国内の TOTO グループの全事業所のうち、水質総量規制制度の対象となる 5 事業所での平均実測値
窒素含有量	国内の TOTO グループの全事業所のうち、水質総量規制制度の対象となる 5 事業所での平均実測値
りん含有量	国内の TOTO グループの全事業所のうち、水質総量規制制度の対象となる 5 事業所での平均実測値
PRTR 法規制対象物質	PRTR 法の対象となった 16 事業所で年間取扱量が 1t 以上(特定第一種指定は 0.5t 以上)あった対象化学物質の合計

独立した第三者保証報告書



独立した第三者保証報告書

2016年6月9日

TOTO 株式会社

代表取締役 社長執行役員 喜多村 円 殿

KPMG あずさサステナビリティ株式会社
大阪市中央区瓦町三丁目 6 番 5 号

代表取締役

斎藤 和彦

取締役

松尾 幸喜

当社は、TOTO 株式会社(以下、「会社」という。)からの委嘱に基づき、会社が作成した 2015 年度データ集(以下、「データ集」という。)に記載されている 2015 年 4 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日までを対象とした☑マークの付されている環境パフォーマンス指標(以下、「指標」という。)に対して限定的保証業務を実施した。

会社の責任

環境省の環境報告ガイドライン 2012 年版等を参考にして会社が定めた指標の算定・報告基準(以下、「会社の定める基準」という。データ集に記載。)に従って指標を算定し、表示する責任は会社にある。

当社の責任

当社の責任は、限定的保証業務を実施し、実施した手続に基づいて結論を表明することにある。当社は、国際監査・保証基準審議会の国際保証業務基準 (ISAE) 3000「過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」、ISAE3410「温室効果ガス情報に対する保証業務」及びサステナビリティ情報審査協会のサステナビリティ情報審査実務指針に準拠して限定的保証業務を実施した。

本保証業務は限定的保証業務であり、主としてデータ集上の開示情報の作成に責任を有するもの等に対する質問、分析的手続等の保証手続を通じて実施され、合理的保証業務における手続と比べて、その種類は異なり、実施の程度は狭く、合理的保証業務ほどには高い水準の保証を与えるものではない。当社の実施した保証手続には以下の手続が含まれる。

- データ集の作成・開示方針についての質問及び会社の定める基準の検討
- 指標に関する算定方法並びに内部統制の整備状況に関する質問
- 集計データに対する分析的手続の実施
- 会社の定める基準に従って指標が把握、集計、開示されているかについて、試査により入手した証拠との照合並びに再計算の実施
- リスク分析に基づき選定した国内 2 工場及び海外 2 工場における現地往査
- 指標の表示の妥当性に関する検討

結論

上述の保証手続の結果、データ集に記載されている指標が、すべての重要な点において、会社の定める基準に従って算定され、表示されていないと認められる事項は発見されなかった。

当社の独立性と品質管理

当社は、誠実性、客観性、職業的専門家としての能力と正当な注意、守秘義務及び職業的専門家としての行動に関する基本原則に基づく独立性及びその他の要件を含む、国際会計士倫理基準審議会の公表した「職業会計士の倫理規程」を遵守した。

当社は、国際品質管理基準第 1 号に準拠して、倫理要件、職業的専門家としての基準及び適用される法令及び規則の要件の遵守に関する文書化した方針と手続を含む、包括的な品質管理システムを維持している。

以上